

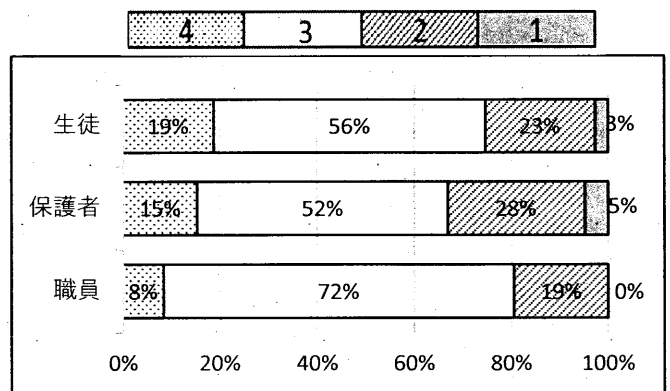
令和2年度 学校評価の結果について

教育活動や学校運営について、目指すべき目標に対する達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することを目的として学校評価を実施しております。また、その結果を公表することにより、保護者の皆様や地域の皆様からのご理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携による学校づくりを進めていきたいと考えております。

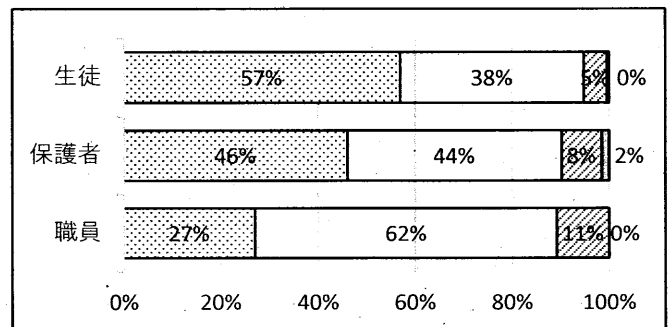
生徒と保護者の皆様には12月にアンケート調査を実施し、教職員への調査とともに集計を行い、学校としての自己分析を行いました。(年度当初は6月も実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のための臨時休校もあり、実施を見送りました。) アンケート調査では、「めざす生徒像・学校像・教師像」に合わせて25項目の質問を設定し、それぞれの項目を4段階で評価しました。数値をもとに次年度も継続していきたい項目、改善していきたい項目を分析し顕著なものを掲載しましたのでご覧ください。

【めざす生徒像に関するもの(質問1~12)】

質問2 『生徒は、やると決めたことには計画的に粘り強くやり通している』について肯定的な回答をしている生徒は75%、保護者に至っては67%と低い値となりました。学習面では、テスト前の学習計画の立て方・活用法について指導し、生活面では、学校行事を行うことで、様々な体験をさせながらやり通す力をつけていきたいと考えております。



質問4 『生徒は、時間やルールを守って学校生活を送っている』については、生徒・保護者・職員ともに肯定的な回答が多くみられました。学校生活においても、「2分前着席」や「1分前学習」の呼びかけを行うなど、時間に対する高い意識がみられます。とはいうものの、全生徒がしっかりとできているわけではないので、引き続き、生徒の活動とともに意識の向上に努めていきます。



質問6 『生徒は、宿題がない時も、授業の予習・復習などの家庭学習をしている』については、三者ともに最も低い数値となりました。昨年度は、生徒・保護者ともに肯定的な回答が90%以上あったものの、今年度は生徒66%、保護者54%にまで落ち込んでしまいました。各教科の授業ガイダンスやテスト前の学活等で家庭学習の方法について指導し、習慣化させていきたいと思っております。

